

企業物流短期動向調査（日通総研短観） 調査結果

（2013年9月調査）

2013年10月

株式会社 日通総合研究所

目次

I. 調査の内容.....	1
II. 調査の結果.....	3
1. 国内向け出荷量の動向	3
2. 輸送機関利用の動向	7
(1) 一般トラック	8
(2) 特別積合せトラック	9
(3) 宅配便	10
(4) 鉄道コンテナ	11
(5) 内航コンテナ	12
(6) 国内航空	13
3. 輸出入貨物量の動向	14
(1) 外貿コンテナ ー輸出ー	15
(2) 外貿コンテナ ー輸入ー	16
(3) 国際航空 ー輸出ー	17
(4) 国際航空 ー輸入ー	18
4. 在庫量と営業倉庫利用の動向	19
(1) 在庫量 ー原材料ー	20
(2) 在庫量 ー製品ー	21
(3) 営業倉庫保管量	22
5. 運賃・料金の動向	23
(1) 一般トラック運賃	24
(2) 特別積合せトラック運賃	25
(3) 鉄道コンテナ運賃	26
(4) 内航コンテナ運賃	27
(5) 国内航空運賃	28
(6) 営業倉庫保管料金	29
6. 物流コスト割合の動向	30

I. 調査の内容

目的 : 本調査は、足もとの出荷状況等を各企業（事業所）の物流担当者に直接回答していただくことで、荷主企業の物流動向について業種横断的かつ包括的な情報を、データの形で迅速に公の場に提供することを目的として実施するものである。

方法 : 本調査はアンケート方式により、四半期ベース（3月、6月、9月、12月の年4回）で実施する。

調査項目は次のとおりであり、当期実績見込みと次期見通しを対前年同期比「増加する」、「横ばい」、「減少する」もしくは「値上り」、「変わらない」、「値下り」等の3つの選択肢の中から選択回答する。

1. 国内向け出荷動向
2. 輸送機関別利用動向（一般トラック、特別積合せトラック、宅配便、鉄道コンテナ、内航コンテナ、国内航空）
3. 輸出入貨物の動向（外貿コンテナ、国際航空）
4. 在庫量（原材料、製品）と営業倉庫利用の動向
5. 運賃・料金の動向（一般トラック、特別積合せトラック、鉄道コンテナ、内航コンテナ、国内航空、営業倉庫保管）
6. 売上高に対する物流コスト割合の動向

集計は、調査項目ごとに各選択肢の回答事業所数を集計し、その合計事業所数に対する割合を算出、以下により動向判断指標^(*)とする。

$$\text{動向判断指標} = \left[\begin{array}{l} \text{「増加する（値上り）」と} \\ \text{回答した事業所割合} \end{array} \right] - \left[\begin{array}{l} \text{「減少する（値下り）」と} \\ \text{回答した事業所割合} \end{array} \right]$$

なお、この指標は荷動き等に対する各事業所の（定性的な）動向を集約するものであり、この結果がそのまま全体としての（定量的な）出荷量などの増減を意味するものではない。

(*) 動向判断指標：本調査では、調査項目に応じて『荷動き指数』、『運賃動向指数』等の名称を付している。

調査対象 : 製造業、卸売業の主要2,500事業所を対象とする。

－今回調査の回収・集計状況－

今回調査は、2013年7～9月の実績と2013年10～12月の見通しを9月初旬時点でうかがったものであり、1,099社からご協力をいただき、回答率は44.0%となった。

なお、業種別にみた調査対象企業数、回答企業数ならびに回答率は、次表のとおりである。

調査対象企業数と回答企業数

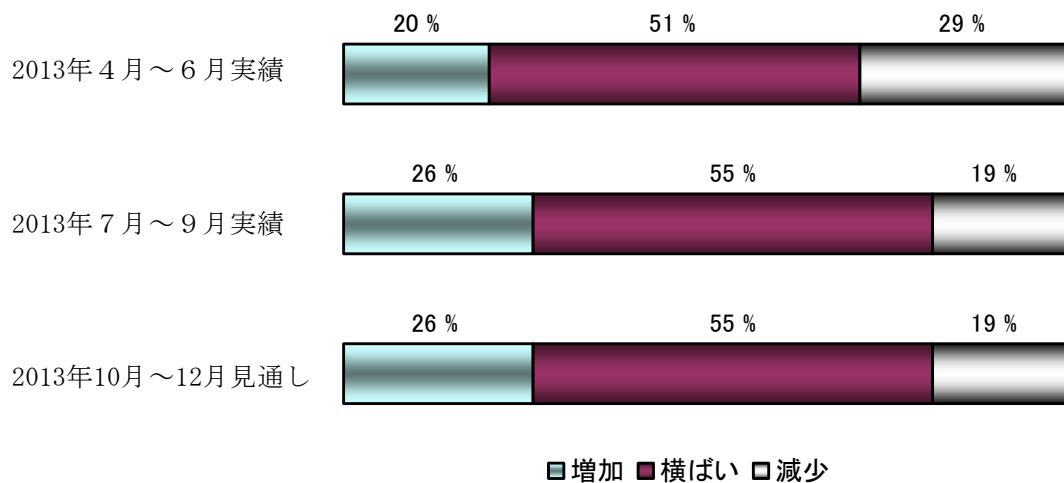
業 種		調査対象 企業数	回 答 企業数	回答率(%)
製 造 業	食 料 品 ・ 飲 料	232	95	40.9
	織 維 ・ 衣 服	111	41	36.9
	木 材 ・ 家 具	96	41	42.7
	パ ル プ ・ 紙	107	56	52.3
	化学・プラスチック	239	116	48.5
	窯 業 ・ 土 石	102	43	42.2
	鉄 鋼 ・ 非 鉄	195	108	55.4
	金 属 製 品	128	57	44.5
	一 般 機 械	222	100	45.0
	電 気 機 械	333	132	39.6
	輸 送 用 機 械	251	111	44.2
	精 密 機 械	67	28	41.8
	そ の 他	167	60	35.9
	計	2,250	988	43.9
卸 売 業	生 産 財	124	60	48.4
	消 費 財	126	51	40.5
	計	250	111	44.4
合 計		2,500	1,099	44.0

Ⅱ. 調査の結果

－ 1. 国内向け出荷量の動向－

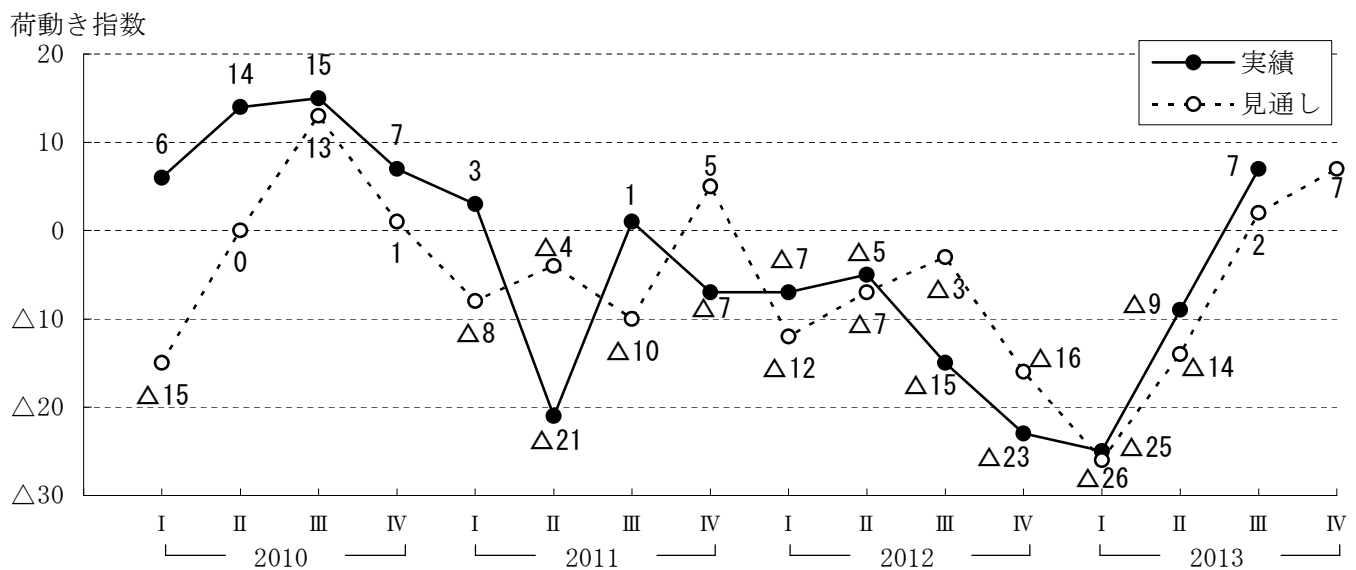
- 7～9月実績（見込み）における国内向け出荷量の動向をみると、前年同期比で「増加」との回答が前期（4～6月）実績より6ポイント上昇し26%となった。一方、「減少」との回答は前期より10ポイント低下し19%となり、この結果『荷動き指数』（＝「増加」の回答割合－「減少」の回答割合）は16ポイント上昇してプラス7となった。
- 10～12月見通しの出荷量については、前年同期比で「増加」との回答が前期（7～9月）実績（見込み）と変わらず26%となり、また「減少」との回答も19%と変わらないものとみられる。この結果、『荷動き指数』はプラス7と横ばいの動きが見込まれる。

国内向け出荷量の実績と見通し



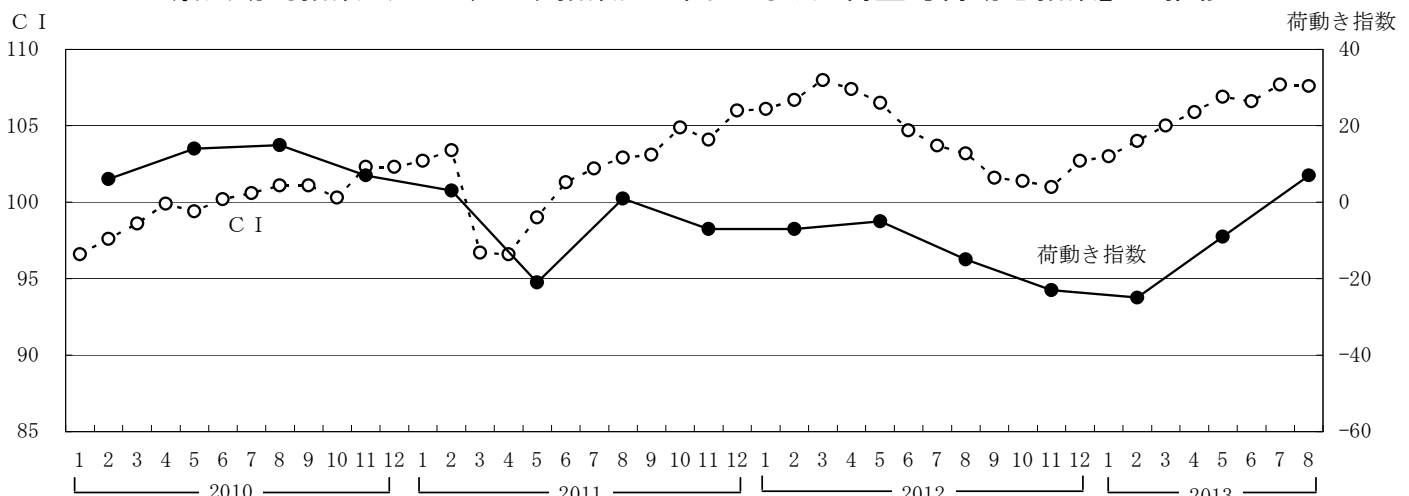
■ 今回調査の『荷動き指数』を前回までの調査と比較すると、2011年10～12月実績以降水面下の推移が続き、2012年7～9月実績および10～12月実績では大幅な下落となった。しかし、2013年1～3月実績で下げ止まり、4～6月実績および7～9月実績（見込み）では大幅な改善がみられた。7～9月実績（見込み）ではプラス7と、2011年7～9月実績以来2年ぶりのプラスに浮上し、荷動きの回復が確認された。なお、10～12月見通しでは横ばいの動きが見込まれており、V字型の回復のあと、やや一服感がみられる。

荷動きの見通しと実績（見込み）の『荷動き指数』



注) 点線は各期に入る前の時点の見通しにおける『荷動き指数』(2013年IV期の『荷動き指数』は今回調査時点の見通し)、実線は各期の途中の時点で判断した実績見込みの『荷動き指数』(2013年III期の『荷動き指数』は今回調査における判断)。

景気動向指数 (C I ; 一致指数) と国内向け出荷量『荷動き指数』の推移



注) 1. 荷動き指数は四半期ごとの数値のため、2月、5月、8月、11月の位置にプロットしている。
2. 景気動向指数研究会によると、第15循環における景気の谷は2009年3月、景気の山は2012年4月(暫定)となっている。

■ 7～9月の業種別『荷動き指数』実績（見込み）をみると、パルプ・紙以外の業種において前期（4～6月）実績よりも上昇した。マイナスの業種は繊維・衣服、精密機械、消費財卸の3業種にとどまり、電気機械がゼロ水準で、残り11業種がプラスとなった。

■ 10～12月の『荷動き指数』見通しでは、電気機械や輸送用機械など6業種において前期（7～9月）実績（見込み）よりも『荷動き指数』が低下する一方、残り9業種では上昇が見込まれる。この結果、繊維・衣服、電気機械、精密機械の3業種がマイナス、化学・プラスチックなど3業種がゼロ水準で、木材・家具、その他の製造業など9業種がプラスになるものとみられる。

国内向け出荷量の実績と見通し（業種別）

業 種	2013年7月～9月実績					2013年10月～12月見通し				
	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少	
食料品・飲料	93	22	58	20	2	92	27	57	16	11
繊維・衣服	41	22	46	32	△ 10	41	17	51	32	△ 15
木材・家具	40	48	40	12	36	40	50	45	5	45
パルプ・紙	55	25	53	22	3	55	22	62	16	6
化学・プラスチック	113	21	61	18	3	113	19	62	19	0
窯業・土石	42	36	38	26	10	42	31	50	19	12
鉄鋼・非鉄	106	31	52	17	14	105	34	52	14	20
金属製品	56	23	61	16	7	56	36	48	16	20
一般機械	100	30	50	20	10	100	28	46	26	2
電気機械	131	23	54	23	0	131	21	52	27	△ 6
輸送用機械	107	31	51	18	13	104	25	50	25	0
精密機械	28	7	72	21	△ 14	28	18	61	21	△ 3
その他	60	32	58	10	22	59	31	61	8	23
計	972	27	54	19	8	966	27	53	20	7
卸売業										
生産財	60	27	62	11	16	60	25	65	10	15
消費財	51	16	55	29	△ 13	51	18	64	18	0
計	111	22	59	19	3	111	22	65	13	9
合計	1,083	26	55	19	7	1,077	26	55	19	7

■ 7～9月の地域別『荷動き指数』実績（見込み）をみると、東北でゼロ水準にとどまる以外は、残り8地域でプラスとなった。前期（4～6月）実績との比較では、全9地域で上昇がみられた。

■ 10～12月の見通しでは、北海道など5地域で『荷動き指数』が上昇する一方、東北など4地域において低下の動きがみられ、東北ではマイナスに沈む見込みである。各地域とも、総じて荷動きは回復傾向にあるものの、地域により若干の温度差がみられる。

国内向け出荷量の実績と見通し（地域別）

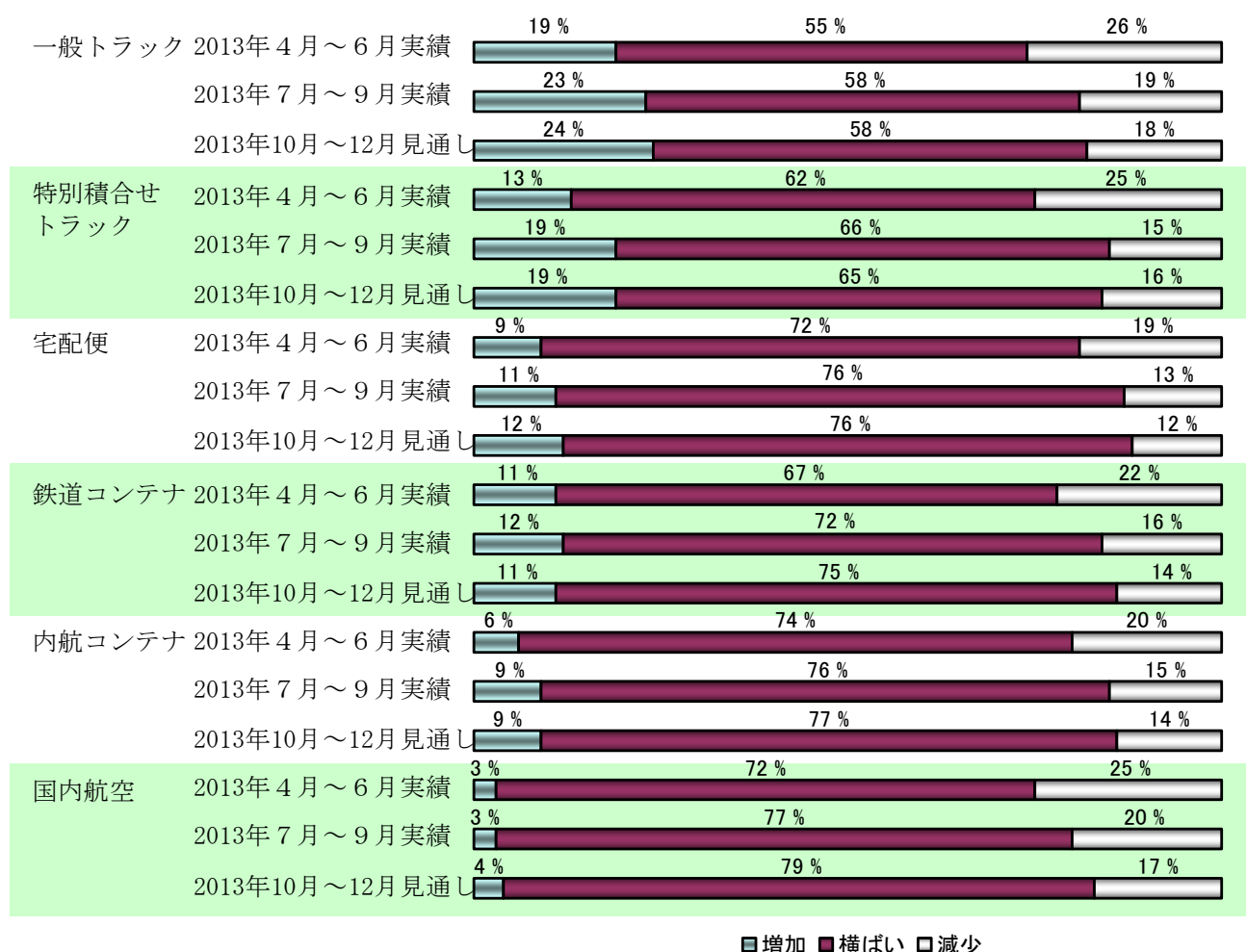
地 域	2013年7月～9月実績					2013年10月～12月見通し				
	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少	
北 海 道	51	27	57	16	11	51	25	63	12	13
東 北	104	17	66	17	0	104	19	61	20	△ 1
関 東	269	28	51	21	7	265	25	54	21	4
北 陸 ・ 信 越	104	29	54	17	12	104	32	49	19	13
東 海	166	26	54	20	6	165	30	50	20	10
近 畿	165	29	53	18	11	165	27	55	18	9
中 国	94	26	51	23	3	93	25	55	20	5
四 国	58	29	47	24	5	58	26	50	24	2
九 州 ・ 沖 縄	72	24	64	12	12	72	26	63	11	15
合 計	1,083	26	55	19	7	1,077	26	55	19	7

－ 2. 輸送機関利用の動向－

■ 7～9 月実績（見込み）の輸送機関別『利用動向指数』は、すべての輸送機関において、前期（4～6 月）実績よりも改善し、一般トラックおよび特別積合せトラックではプラスに浮上した。ただし、国内航空では引き続き 2 ケタのマイナスとなっており、輸送機関により明暗が分かれた。

■ 10～12 月の見通しでは、特別積合せトラックにおいて弱含みの動きがみられるものの、残りの輸送機関では『利用動向指数』が改善する見込みである。この結果、宅配便がゼロ水準まで戻すほか、鉄道コンテナおよび内航コンテナでもマイナス幅は縮小する。一方、国内航空では 2 ケタのマイナスとなり、利用の減退が続く見通しである

各輸送機関の利用の実績と見通し



■増加 ■横ばい □減少

(1) 一般トラック

■ 7～9月実績（見込み）の『利用動向指数』は、木材・家具、一般機械など9業種がプラス、金属製品がゼロ水準で、消費財卸など5業種がマイナスを示した。業種全体の『利用動向指数』は、前期（4～6月）実績から11ポイント上昇してプラス4となり、2011年1～3月実績以来のプラスに浮上した。

■ 10～12月の『利用動向指数』見通しでは、一般機械がマイナスに沈む一方、食料品・飲料、金属製品がプラスに浮上し、消費財卸もゼロ水準まで戻す。この結果、業種全体の『利用動向指数』はプラス6と2ポイント上昇する見通しで、利用は拡大に向かうものとみられる。

一般トラック利用の実績と見通し

業種	2013年7月～9月実績					2013年10月～12月見通し				
	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	回答社数	構成比(%)			利用動向指数
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少	
食料品・飲料	92	18	61	21	△3	89	25	58	17	8
繊維・衣服	34	26	45	29	△3	34	26	45	29	△3
木材・家具	39	46	44	10	36	39	44	51	5	39
パルプ・紙	56	23	57	20	3	55	18	67	15	3
化学・プラスチック	113	19	63	18	1	111	22	60	18	4
窯業・土石	42	33	41	26	7	40	30	55	15	15
鉄鋼・非鉄	102	27	54	19	8	102	30	55	15	15
金属製品	57	16	68	16	0	56	25	61	14	11
一般機械	100	29	55	16	13	97	22	53	25	△3
電気機械	120	18	59	23	△5	120	17	59	24	△7
輸送用機械	107	30	51	19	11	104	27	50	23	4
精密機械	22	0	95	5	△5	22	5	77	18	△13
その他	58	26	60	14	12	57	28	63	9	19
計	942	24	57	19	5	926	24	58	18	6
卸売業										
生産財	54	19	72	9	10	54	19	70	11	8
消費財	48	13	56	31	△18	47	17	66	17	0
計	102	15	65	20	△5	101	18	68	14	4
合計	1,044	23	58	19	4	1,027	24	58	18	6

(2) 特別積合せトラック

■ 7～9月実績（見込み）の『利用動向指数』は、食料品・飲料、窯業・土石など10業種がプラス、パルプ・紙がゼロ水準で、繊維・衣服など4業種がマイナスを示した。業種全体の『利用動向指数』は、前期（4～6月）実績から16ポイント上昇してプラス4となり、2010年10～12月実績以来のプラスに浮上した。

■ 10～12月の『利用動向指数』見通しでは、消費財卸がプラスに浮上する一方、パルプ・紙および輸送用機械がマイナスに沈む。この結果、業種全体の『利用動向指数』はプラス3と弱含み横ばいで推移する見通しで、利用拡大の方向に変化はないものの、増勢は若干弱まるとみられる。

特別積合せトラック利用の実績と見通し

業種	2013年7月～9月実績					2013年10月～12月見通し				
	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	回答社数	構成比(%)			利用動向指数
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少	
食料品・飲料	62	18	74	8	10	61	21	71	8	13
繊維・衣服	31	22	39	39	△17	31	19	55	26	△7
木材・家具	27	22	63	15	7	27	22	71	7	15
パルプ・紙	36	19	62	19	0	36	14	67	19	△5
化学・プラスチック	101	18	69	13	5	100	16	71	13	3
窯業・土石	32	28	56	16	12	32	22	63	15	7
鉄鋼・非鉄	70	24	60	16	8	69	22	64	14	8
金属製品	42	19	69	12	7	41	34	51	15	19
一般機械	77	21	66	13	8	76	21	62	17	4
電気機械	96	14	63	23	△9	95	17	59	24	△7
輸送用機械	75	20	65	15	5	74	18	62	20	△2
精密機械	17	0	94	6	△6	17	0	88	12	△12
その他	40	23	63	14	9	40	23	58	19	4
計	706	19	65	16	3	699	19	64	17	2
卸売業										
生産財	48	17	73	10	7	48	19	69	12	7
消費財	32	9	72	19	△10	32	16	75	9	7
計	80	14	72	14	0	80	18	71	11	7
合計	786	19	66	15	4	779	19	65	16	3

(3) 宅配便

■ 7～9月実績（見込み）の『利用動向指数』は、木材・家具、消費財卸など8業種がプラス、食料品・飲料、精密機械など7業種がマイナスを示した。業種全体の『利用動向指数』は△2で、前期（4～6月）実績からは8ポイント上昇した。

■ 10～12月の『利用動向指数』見通しでは、繊維・衣服がマイナスに沈む一方、鉄鋼・非鉄、電気機械、精密機械がプラスに浮上する。この結果、業種全体の『利用動向指数』は2ポイント上昇してゼロ水準まで戻す見通しで、利用回復に向けた動きが窺える。

宅配便利用の実績と見通し

業種	2013年7月～9月実績					2013年10月～12月見通し					
	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製造業	食料品・飲料	68	4	78	18	△14	65	5	78	17	△12
	繊維・衣服	36	19	67	14	5	36	11	75	14	△3
	木材・家具	35	26	63	11	15	35	20	74	6	14
	パルプ・紙	30	13	70	17	△4	30	10	73	17	△7
	化学・プラスチック	89	7	82	11	△4	88	2	87	11	△9
	窯業・土石	34	18	68	14	4	34	18	76	6	12
	鉄鋼・非鉄	66	4	82	14	△10	66	9	83	8	1
	金属製品	47	15	74	11	4	47	15	77	8	7
	一般機械	90	17	71	12	5	88	11	79	10	1
	電気機械	120	13	73	14	△1	120	16	70	14	2
	輸送用機械	86	7	81	12	△5	82	7	78	15	△8
	精密機械	26	4	81	15	△11	26	19	66	15	4
その他	47	13	79	8	5	47	17	70	13	4	
計	774	11	76	13	△2	764	11	77	12	△1	
卸売業	生産財	48	10	82	8	2	48	13	79	8	5
	消費財	41	20	68	12	8	40	25	65	10	15
	計	89	15	75	10	5	88	18	73	9	9
合計	863	11	76	13	△2	852	12	76	12	0	

(4) 鉄道コンテナ

■ 7～9月実績（見込み）の『利用動向指数』は、木材・家具など4業種がプラス、食料品・飲料および輸送用機械がゼロ水準で、生産財卸、消費財卸など9業種がマイナスを示した。業種全体の『利用動向指数』は△4で、前期（4～6月）実績からは7ポイント上昇した。

■ 10～12月の『利用動向指数』見通しでは、化学・プラスチックおよび一般機械がゼロ水準に下降する一方、パルプ・紙および鉄鋼・非鉄がゼロ水準まで戻す。この結果、業種全体の『利用動向指数』は△3と強含み横ばいで推移する見通しで、利用の減退圧力は弱まるものとみられる。

鉄道コンテナ利用の実績と見通し

業種	2013年7月～9月実績					2013年10月～12月見通し					
	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
食料品・飲料	46	13	74	13	0	45	11	78	11	0	
繊維・衣服	10	0	90	10	△10	10	0	90	10	△10	
木材・家具	19	32	47	21	11	19	26	63	11	15	
パルプ・紙	37	11	70	19	△8	37	14	72	14	0	
化学・プラスチック	79	16	69	15	1	78	14	72	14	0	
窯業・土石	19	10	74	16	△6	19	10	74	16	△6	
鉄鋼・非鉄	38	8	76	16	△8	38	13	74	13	0	
金属製品	23	0	83	17	△17	23	0	78	22	△22	
一般機械	35	11	83	6	5	35	9	82	9	0	
電気機械	43	12	67	21	△9	43	9	72	19	△10	
輸送用機械	34	9	82	9	0	34	12	76	12	0	
精密機械	8	0	88	12	△12	8	0	88	12	△12	
その他	24	21	63	16	5	24	21	67	12	9	
計	415	12	73	15	△3	413	11	75	14	△3	
卸売業	生産財	11	9	64	27	△18	11	9	64	27	△18
	消費財	15	0	60	40	△40	15	0	73	27	△27
	計	26	3	62	35	△32	26	4	69	27	△23
合計		441	12	72	16	△4	439	11	75	14	△3

(5) 内航コンテナ

■ 7～9月実績（見込み）の『利用動向指数』は、木材・家具、化学・プラスチック、輸送用機械の3業種がプラス、パルプ・紙がゼロ水準で、残り11業種がマイナスを示した。業種全体の『利用動向指数』は△6で、前期（4～6月）実績からは8ポイント上昇した。

■ 10～12月の『利用動向指数』見通しでは、化学・プラスチックがマイナスに沈む一方、パルプ・紙がプラスに浮上し、金属製品および消費財卸もゼロ水準まで戻す。この結果、業種全体の『利用動向指数』は△5と強含み横ばいで推移する見通しで、利用の減退圧力はいくぶん弱まるものとみられる。

内航コンテナ利用の実績と見通し

業 種	2013年7月～9月実績					2013年10月～12月見通し					
	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
食料品・飲料	32	6	78	16	△10	31	6	81	13	△7	
繊維・衣服	7	0	86	14	△14	7	0	86	14	△14	
木材・家具	8	12	88	0	12	8	12	88	0	12	
パルプ・紙	18	17	66	17	0	18	22	67	11	11	
化学・プラスチック	48	13	77	10	3	48	4	86	10	△6	
窯業・土石	13	8	69	23	△15	13	8	69	23	△15	
鉄鋼・非鉄	27	7	82	11	△4	27	11	74	15	△4	
金属製品	17	6	82	12	△6	17	12	76	12	0	
一般機械	32	12	66	22	△10	32	15	63	22	△7	
電気機械	31	3	74	23	△20	30	3	77	20	△17	
輸送用機械	27	15	78	7	8	27	15	78	7	8	
精密機械	8	0	88	12	△12	8	0	88	12	△12	
その他	18	6	83	11	△5	18	5	78	17	△12	
計	286	9	77	14	△5	284	9	77	14	△5	
卸売業	生産財	6	17	50	33	△16	6	17	50	33	△16
	消費財	10	0	90	10	△10	10	0	100	0	0
	計	16	6	75	19	△13	16	6	81	13	△7
合計	302	9	76	15	△6	300	9	77	14	△5	

(6) 国内航空

■ 7～9月実績（見込み）の『利用動向指数』は、プラスの業種は皆無で、繊維・衣服がゼロ水準にとどまる以外は、残り14業種がマイナスとなった。業種全体の『利用動向指数』は△17で、前期（4～6月）実績からは5ポイント上昇した。

■ 10～12月の『利用動向指数』見通しでは、木材・家具がプラスに浮上するなど、5業種において改善がみられる。この結果、業種全体の『利用動向指数』は4ポイント上昇して△13と見込まれ、利用の減退圧力はいくぶん弱まるものの、国内航空はすべての国内輸送機関のなかで『利用動向指数』がもっとも低く、利用の減退が続く見通しである。

国内航空利用の実績と見通し

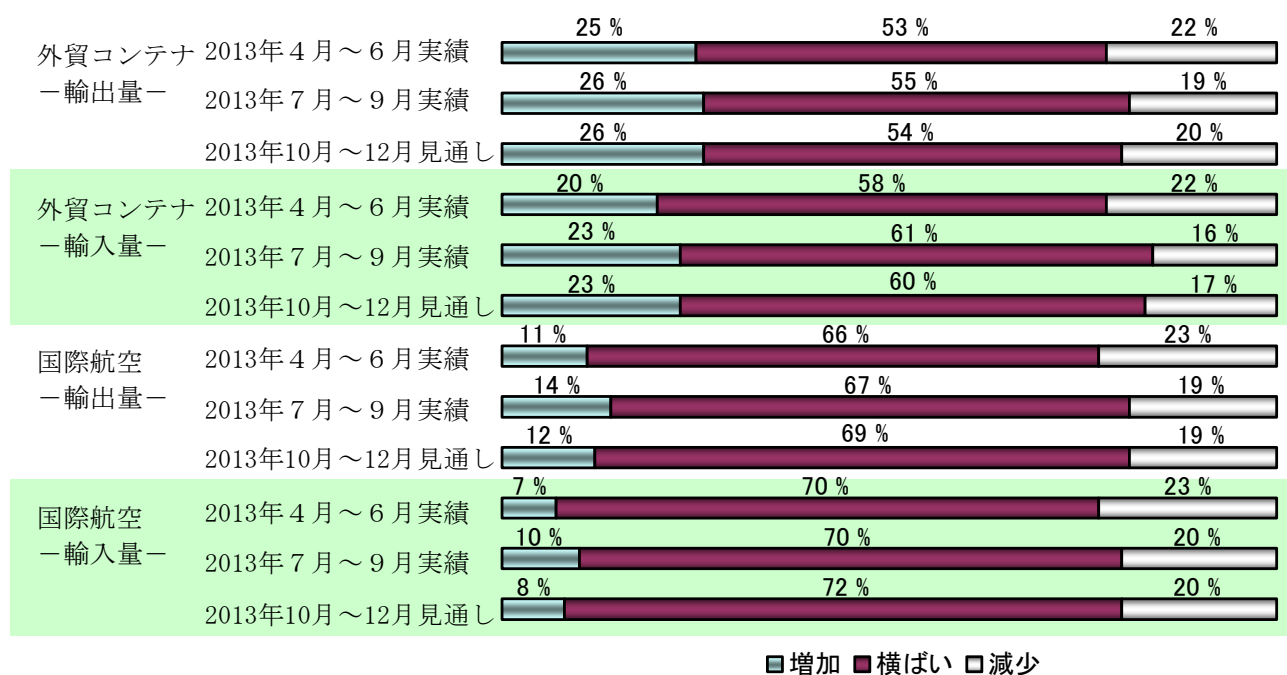
業種	2013年7月～9月実績					2013年10月～12月見通し				
	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	回答社数	構成比(%)			利用動向指数
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少	
食料品・飲料	27	4	74	22	△18	26	4	77	19	△15
繊維・衣服	9	0	100	0	0	9	0	100	0	0
木材・家具	8	12	63	25	△13	8	25	63	12	13
パルプ・紙	6	0	83	17	△17	6	0	83	17	△17
化学・プラスチック	33	3	88	9	△6	33	3	88	9	△6
窯業・土石	13	8	69	23	△15	13	15	62	23	△8
鉄鋼・非鉄	25	0	84	16	△16	25	0	84	16	△16
金属製品	16	0	81	19	△19	16	0	81	19	△19
一般機械	51	6	78	16	△10	51	4	80	16	△12
電気機械	63	3	68	29	△26	63	3	73	24	△21
輸送用機械	28	7	79	14	△7	28	4	82	14	△10
精密機械	12	0	83	17	△17	12	0	83	17	△17
その他	17	6	76	18	△12	17	0	88	12	△12
計	308	3	78	19	△16	307	3	80	17	△14
卸売業										
生産財	11	9	55	36	△27	11	9	55	36	△27
消費財	14	0	71	29	△29	14	0	86	14	△14
計	25	4	64	32	△28	25	4	72	24	△20
合計	333	3	77	20	△17	332	4	79	17	△13

－ 3. 輸出入貨物量の動向－

■ 7～9 月実績（見込み）の『荷動き指数』をみると、すべての輸送機関において前期（4～6 月）よりも改善がみられ、外貿コンテナの輸出・輸入ではプラスとなった。一方、国際航空では輸出・輸入ともマイナスでの推移が続いている。

■ 10～12 月の見通しでは、すべての輸送機関において小幅ながら『荷動き指数』が悪化する見込みである。外貿コンテナの輸出・輸入では引き続きプラスを維持するものの、国際航空の輸出・輸入ではマイナス幅が若干拡大し、回復に向けての足取りは重い。

輸出入貨物量の実績と見通し



(1) 外貿コンテナ ー輸出ー

■ 7～9月実績（見込み）の『荷動き指数』は、パルプ・紙、その他の製造業など8業種がプラス、繊維・衣服、生産財卸、消費財卸の3業種がゼロ水準で、精密機械など4業種がマイナスを示した。業種全体の『荷動き指数』はプラス7で、前期（4～6月）実績からは4ポイント上昇した。

■ 10～12月の『荷動き指数』見通しでは、繊維・衣服および化学・プラスチックがプラスに浮上し、木材・家具および金属製品もゼロ水準まで戻す一方、生産財卸および消費財卸がマイナスに沈み、食料品・飲料など3業種もゼロ水準に下降する。この結果、業種全体の『荷動き指数』はプラス6と弱含み横ばいの推移が見込まれ、荷動きの拡大が続くものの、増勢は若干減速するものとみられる。

外貿コンテナによる輸出量の実績と見通し

業種	2013年7月～9月実績					2013年10月～12月見通し					
	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
食料品・飲料	18	33	45	22	11	17	24	52	24	0	
繊維・衣服	13	23	54	23	0	13	23	62	15	8	
木材・家具	7	0	86	14	△14	7	14	72	14	0	
パルプ・紙	20	40	45	15	25	19	42	47	11	31	
化学・プラスチック	60	17	63	20	△3	60	28	59	13	15	
窯業・土石	20	30	50	20	10	20	25	55	20	5	
鉄鋼・非鉄	52	25	58	17	8	52	29	56	15	14	
金属製品	20	10	75	15	△5	20	20	60	20	0	
一般機械	67	28	51	21	7	67	25	50	25	0	
電気機械	54	31	45	24	7	54	30	43	27	3	
輸送用機械	54	30	54	16	14	53	23	62	15	8	
精密機械	13	7	62	31	△24	13	15	47	38	△23	
その他	24	38	46	16	22	24	25	50	25	0	
計	422	26	54	20	6	419	26	54	20	6	
卸売業	生産財	7	14	72	14	0	7	0	86	14	△14
	消費財	9	22	56	22	0	9	11	67	22	△11
	計	16	19	62	19	0	16	6	75	19	△13
合計	438	26	55	19	7	435	26	54	20	6	

(2) 外貿コンテナ ー輸入ー

■ 7～9月実績（見込み）の『荷動き指数』は、輸送用機械、その他の製造業など9業種がプラス、電気機械および消費財卸がゼロ水準で、食料品・飲料など4業種がマイナスを示した。業種全体の『荷動き指数』はプラス7で、前期（4～6月）実績からは9ポイント上昇した。

■ 10～12月の『荷動き指数』見通しでは、電気機械および消費財卸がプラスに浮上し、繊維・衣服および木材・家具もゼロ水準まで戻す一方、金属製品がマイナスに沈み、窯業・土石もゼロ水準に下降する。この結果、業種全体の『荷動き指数』はプラス6と弱含み横ばいの推移が見込まれ、荷動きの拡大が続くものの、増勢は若干減速するものとみられる。

外貿コンテナによる輸入量の実績と見通し

業種	2013年7月～9月実績					2013年10月～12月見通し				
	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少	
食料品・飲料	22	18	55	27	△9	21	19	57	24	△5
繊維・衣服	16	25	44	31	△6	16	25	50	25	0
木材・家具	12	17	58	25	△8	12	17	66	17	0
パルプ・紙	16	31	44	25	6	16	25	56	19	6
化学・プラスチック	51	16	71	13	3	51	18	75	7	11
窯業・土石	22	23	68	9	14	22	14	72	14	0
鉄鋼・非鉄	37	14	78	8	6	37	16	70	14	2
金属製品	18	17	72	11	6	18	11	72	17	△6
一般機械	68	29	55	16	13	68	28	50	22	6
電気機械	57	21	58	21	0	57	26	51	23	3
輸送用機械	52	37	56	7	30	51	33	53	14	19
精密機械	14	14	65	21	△7	14	14	65	21	△7
その他	26	31	62	7	24	26	27	58	15	12
計	411	24	61	15	9	409	23	60	17	6
卸売業										
生産財	17	18	76	6	12	17	35	59	6	29
消費財	17	24	52	24	0	17	24	59	17	7
計	34	21	65	14	7	34	29	59	12	17
合計	445	23	61	16	7	443	23	60	17	6

(3) 国際航空 —輸出—

■ 7～9月実績(見込み)の『荷動き指数』は、電気機械および消費財卸がプラス、パルプ・紙など4業種がゼロ水準で、食料品・飲料、窯業・土石など9業種がマイナスを示した。業種全体の『荷動き指数』は△5で、前期(4～6月)実績からは7ポイント上昇した。

■ 10～12月の『荷動き指数』見通しでは、金属製品および消費財卸がマイナスに沈み、輸送用機械などでもマイナス幅が拡大する。この結果、業種全体の『荷動き指数』は2ポイント低下して△7と見込まれ、荷動きの減退圧力がいくぶん強まるものとみられる。

国際航空による輸出量の実績と見通し

業種	2013年7月～9月実績					2013年10月～12月見通し				
	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少	
食料品・飲料	11	0	73	27	△27	10	0	70	30	△30
繊維・衣服	10	10	70	20	△10	10	10	70	20	△10
木材・家具	2	0	50	50	△50	2	0	50	50	△50
パルプ・紙	5	0	100	0	0	5	0	100	0	0
化学・プラスチック	35	11	75	14	△3	35	9	80	11	△2
窯業・土石	12	8	42	50	△42	12	8	50	42	△34
鉄鋼・非鉄	29	21	58	21	0	29	24	52	24	0
金属製品	14	7	86	7	0	14	0	93	7	△7
一般機械	61	10	72	18	△8	60	13	69	18	△5
電気機械	71	24	55	21	3	71	21	62	17	4
輸送用機械	38	11	71	18	△7	38	5	77	18	△13
精密機械	15	13	67	20	△7	15	13	60	27	△14
その他	14	7	79	14	△7	14	0	86	14	△14
計	317	13	67	20	△7	315	12	69	19	△7
卸売業										
生産財	7	14	72	14	0	7	14	72	14	0
消費財	6	33	50	17	16	6	17	50	33	△16
計	13	23	62	15	8	13	15	62	23	△8
合計	330	14	67	19	△5	328	12	69	19	△7

(4) 国際航空 - 輸入 -

■ 7～9月実績（見込み）の『荷動き指数』は、パルプ・紙およびその他の製造業がプラス、電気機械がゼロ水準で、残り12業種がマイナスを示した。業種全体の『荷動き指数』は△10で、前期（4～6月）実績からは6ポイント上昇した。

■ 10～12月の『荷動き指数』見通しでは、電気機械およびその他の製造業がマイナスに沈み、一般機械などでもマイナス幅が拡大する。この結果、業種全体の『荷動き指数』は2ポイント低下して△12と見込まれ、荷動きは引き続き減退するものとみられる。

国際航空による輸入量の実績と見通し

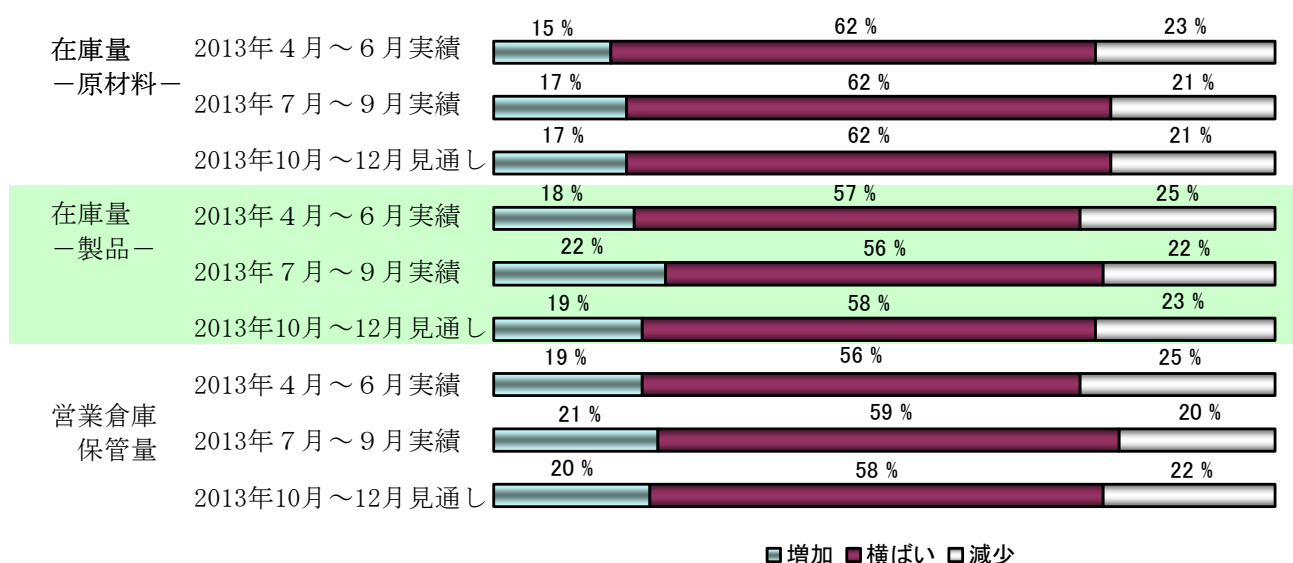
業種	2013年7月～9月実績					2013年10月～12月見通し					
	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製造業	食料品・飲料	11	0	73	27	△27	10	0	80	20	△20
	繊維・衣服	11	0	73	27	△27	11	9	73	18	△9
	木材・家具	3	0	67	33	△33	3	0	67	33	△33
	パルプ・紙	6	17	83	0	17	6	17	83	0	17
	化学・プラスチック	30	3	80	17	△14	30	3	84	13	△10
	窯業・土石	12	0	58	42	△42	12	0	58	42	△42
	鉄鋼・非鉄	23	9	78	13	△4	23	9	74	17	△8
	金属製品	12	8	75	17	△9	12	0	83	17	△17
	一般機械	51	11	65	24	△13	51	8	67	25	△17
	電気機械	62	18	64	18	0	62	16	65	19	△3
	輸送用機械	36	8	78	14	△6	36	5	81	14	△9
	精密機械	14	0	79	21	△21	14	7	72	21	△14
その他	17	24	59	17	7	17	11	71	18	△7	
計	288	10	71	19	△9	287	8	72	20	△12	
卸売業	生産財	6	17	50	33	△16	6	0	67	33	△33
	消費財	8	0	63	37	△37	8	0	63	37	△37
	計	14	7	57	36	△29	14	0	64	36	△36
合計	302	10	70	20	△10	301	8	72	20	△12	

－ 4. 在庫量と営業倉庫利用の動向－

■ 7～9月実績(見込み)の在庫量と営業倉庫保管量の動向をみると、原材料在庫、製品在庫、営業倉庫保管量とも、『動向指数』は前期(4～6月)実績よりも上昇した。この結果、営業倉庫保管量ではプラスに浮上し、製品在庫でもゼロ水準まで戻した。

■ 10～12月の見通しについては、原材料在庫の『動向指数』が横ばいで推移する一方、製品在庫および営業倉庫保管量についてはそれぞれ低下が見込まれ、ともにマイナスに沈む。このため、在庫圧縮の圧力および営業倉庫保管量に対する削減圧力は若干強まるものとみられる。

在庫量と営業倉庫保管量の実績と見通し



(1) 在庫量 —原材料—

■ 7～9月実績（見込み）の『在庫動向指数』は、木材・家具など4業種がプラス、パルプ・紙がゼロ水準で、精密機械、消費財卸など10業種がマイナスとなった。業種全体の『在庫動向指数』は△4で、前期（4～6月）実績からは4ポイント上昇した。

■ 10～12月の『在庫動向指数』見通しでは、食料品・飲料など4業種がプラスに浮上する一方、化学・プラスチックおよび生産財卸がマイナスに沈む。この結果、業種全体の『在庫動向指数』は△4と横ばいで推移し、原材料在庫の圧縮の動きに変化はないものとみられる。

在庫量（原材料）の実績と見通し

業種	2013年7月～9月実績					2013年10月～12月見通し				
	回答社数	構成比(%)			在庫動向指数	回答社数	構成比(%)			在庫動向指数
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少	
食料品・飲料	78	14	68	18	△4	78	21	62	17	4
繊維・衣服	36	19	56	25	△6	36	17	58	25	△8
木材・家具	36	31	53	16	15	36	28	58	14	14
パルプ・紙	50	20	60	20	0	50	16	74	10	6
化学・プラスチック	105	20	62	18	2	105	13	65	22	△9
窯業・土石	38	13	66	21	△8	38	13	76	11	2
鉄鋼・非鉄	96	15	67	18	△3	96	13	71	16	△3
金属製品	46	17	57	26	△9	45	24	63	13	11
一般機械	88	19	58	23	△4	88	17	57	26	△9
電気機械	113	12	64	24	△12	113	18	53	29	△11
輸送用機械	99	19	60	21	△2	98	18	59	23	△5
精密機械	23	4	70	26	△22	23	0	74	26	△26
その他	52	23	56	21	2	52	27	54	19	8
計	860	17	62	21	△4	858	17	62	21	△4
卸売業										
生産財	33	21	67	12	9	33	12	67	21	△9
消費財	28	14	57	29	△15	28	11	64	25	△14
計	61	18	62	20	△2	61	11	66	23	△12
合計	921	17	62	21	△4	919	17	62	21	△4

(2) 在庫量 —製品—

■ 7～9月実績（見込み）の『在庫動向指数』は、木材・家具など7業種がプラス、一般機械がゼロ水準で、精密機械、消費財卸など7業種がマイナスとなった。業種全体の『在庫動向指数』は前期（4～6月）実績からは7ポイント上昇し、ゼロ水準まで戻した。

■ 10～12月の『在庫動向指数』見通しでは、パルプ・紙がプラスに浮上する一方、化学・プラスチックなど5業種がマイナスに沈み、電気機械もゼロ水準に下降する。この結果、業種全体の『在庫動向指数』は4ポイント低下して△4と見込まれ、再び在庫圧縮の方向に向かうものとみられる。

在庫量（製品）の実績と見通し

業 種	2013年7月～9月実績					2013年10月～12月見通し					
	回答社数	構成比(%)			在庫動向指数	回答社数	構成比(%)			在庫動向指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
食料品・飲料	78	14	65	21	△7	78	17	59	24	△7	
繊維・衣服	38	21	53	26	△5	38	21	53	26	△5	
木材・家具	38	34	42	24	10	38	29	47	24	5	
パルプ・紙	53	28	42	30	△2	53	25	62	13	12	
化学・プラスチック	112	21	60	19	2	112	13	66	21	△8	
窯業・土石	39	23	51	26	△3	39	18	59	23	△5	
鉄鋼・非鉄	97	25	56	19	6	97	23	57	20	3	
金属製品	48	23	48	29	△6	47	12	62	26	△14	
一般機械	90	22	56	22	0	90	18	53	29	△11	
電気機械	121	21	60	19	2	121	26	48	26	0	
輸送用機械	102	19	64	17	2	101	19	59	22	△3	
精密機械	25	8	76	16	△8	25	0	76	24	△24	
その他の	54	28	46	26	2	54	24	50	26	△2	
計	895	22	56	22	0	893	19	58	23	△4	
卸売業	生産財	53	23	60	17	6	53	13	72	15	△2
	消費財	44	18	55	27	△9	44	22	48	30	△8
	計	97	20	58	22	△2	97	17	61	22	△5
合計	992	22	56	22	0	990	19	58	23	△4	

(3) 営業倉庫保管量

■ 7～9月実績（見込み）の『保管動向指数』は、一般機械、その他の製造業など7業種がプラス、繊維・衣服など3業種がゼロ水準で、精密機械など5業種がマイナスとなった。業種全体の『保管動向指数』はプラス1で、前期（4～6月）実績からは7ポイント上昇した。

■ 10～12月の『保管動向指数』見通しでは、木材・家具がプラスに浮上する一方、繊維・衣服など4業種がマイナスに沈む。この結果、業種全体の『保管動向指数』は3ポイント低下して△2と見込まれ、営業倉庫保管量については再び削減の方向に向かうものとみられる。

営業倉庫保管量の実績と見通し

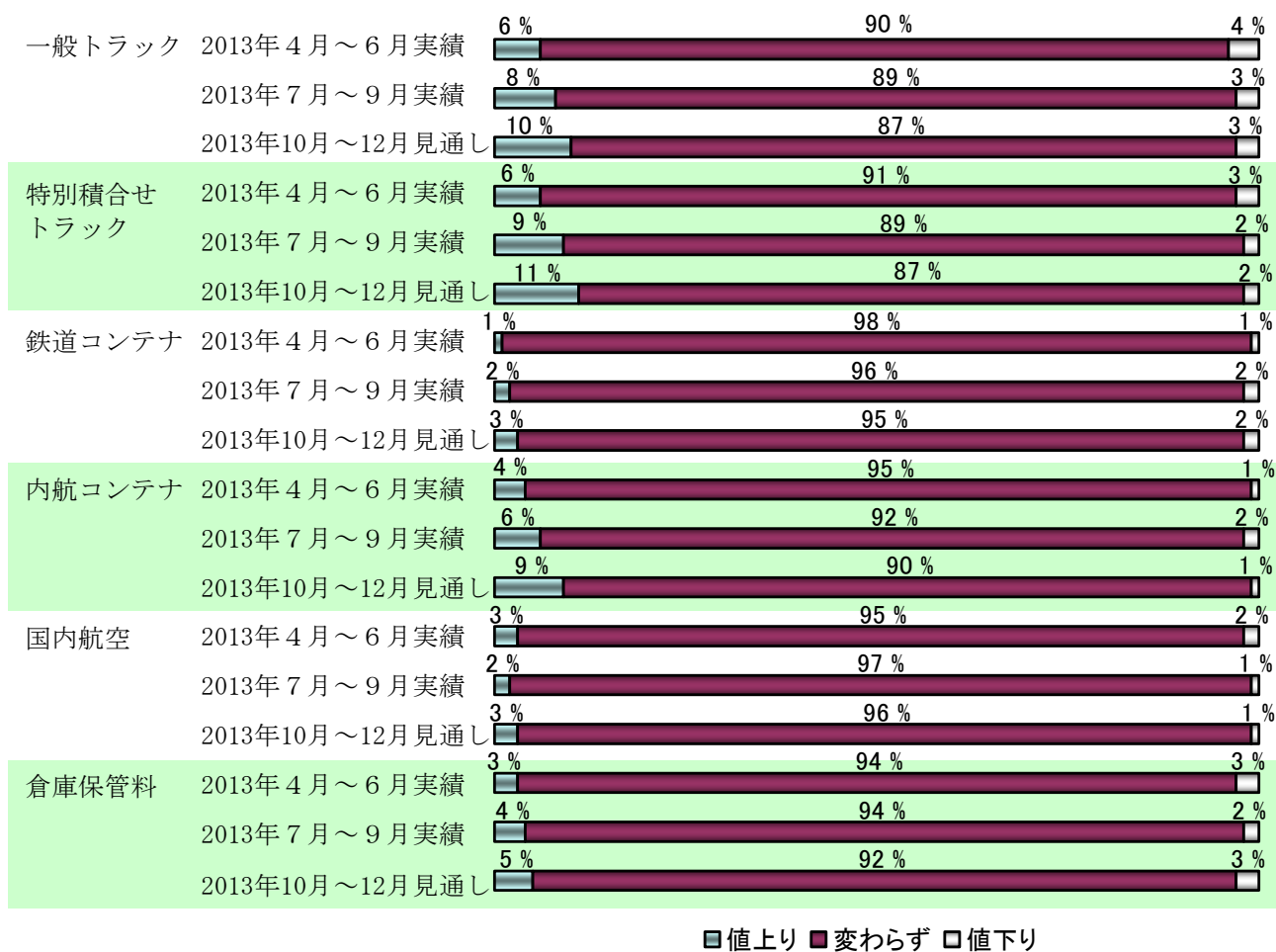
業種	2013年7月～9月実績					2013年10月～12月見通し				
	回答社数	構成比(%)			保管動向指数	回答社数	構成比(%)			保管動向指数
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少	
食料品・飲料	68	16	62	22	△6	68	19	57	24	△5
繊維・衣服	22	32	36	32	0	22	18	50	32	△14
木材・家具	29	21	58	21	0	29	24	66	10	14
パルプ・紙	42	31	38	31	0	43	26	48	26	0
化学・プラスチック	95	18	62	20	△2	95	11	63	26	△15
窯業・土石	25	20	48	32	△12	25	20	44	36	△16
鉄鋼・非鉄	68	25	59	16	9	68	26	52	22	4
金属製品	28	25	54	21	4	28	18	61	21	△3
一般機械	68	22	66	12	10	69	22	64	14	8
電気機械	77	18	61	21	△3	77	19	55	26	△7
輸送用機械	71	21	59	20	1	70	20	56	24	△4
精密機械	21	5	76	19	△14	21	5	76	19	△14
その他	42	31	52	17	14	42	31	50	19	12
計	656	21	59	20	1	657	20	57	23	△3
卸売業										
生産財	44	20	64	16	4	44	14	68	18	△4
消費財	38	21	61	18	3	38	21	61	18	3
計	82	21	62	17	4	82	17	65	18	△1
合計	738	21	59	20	1	739	20	58	22	△2

－ 5. 運賃・料金の動向－

■ 7～9月の運賃・料金水準『動向指数』実績（見込み）は、鉄道コンテナでゼロ水準にとどまる以外は、残りすべての機関でプラスとなった。前期（4～6月）実績との比較では、鉄道コンテナおよび国内航空では横ばいで推移したが、その他の機関においては、『動向指数』の上昇がみられた。

■ 10～12月の『動向指数』見通しについては、倉庫では横ばいで推移する一方、残りすべての機関において上昇方向に動き、鉄道コンテナでもプラスとなる。また、一般トラック、特別積合せトラック、内航コンテナでは増勢がさらに強まる見通しである。

運賃・料金の実績と見通し



(1) 一般トラック運賃

■ 7～9 月実績（見込み）の『運賃動向指数』は、パルプ・紙および精密機械がマイナスで、残り 13 業種がプラスとなった。業種全体の『運賃動向指数』はプラス 5 で、前期(4～6 月)実績からは 3 ポイント上昇した。

■ 10～12 月の『運賃動向指数』見通しでは、その他の製造業がゼロ水準に下降する一方、窯業・土石、鉄鋼・非鉄などでプラス幅が拡大する。この結果、業種全体の『運賃動向指数』は 2 ポイント上昇してプラス 7 と見込まれ、運賃水準の上昇圧力が強まるものとみられる。

一般トラック運賃の実績と見通し

業 種	2013年7月～9月実績					2013年10月～12月見通し				
	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数
		値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り	
食 料 品 ・ 飲 料	90	12	85	3	9	90	14	82	4	10
繊 維 ・ 衣 服	34	15	85	0	15	34	18	79	3	15
木 材 ・ 家 具	38	8	92	0	8	38	13	87	0	13
パ ル プ ・ 紙	55	2	93	5	△ 3	54	4	89	7	△ 3
化学・プラスチック	113	5	94	1	4	112	9	90	1	8
窯 業 ・ 土 石	41	10	85	5	5	41	20	78	2	18
鉄 鋼 ・ 非 鉄	102	10	84	6	4	101	16	81	3	13
金 属 製 品	56	9	89	2	7	55	13	85	2	11
一 般 機 械	99	8	88	4	4	98	7	88	5	2
電 気 機 械	116	6	92	2	4	115	6	91	3	3
輸 送 用 機 械	104	11	86	3	8	102	12	81	7	5
精 密 機 械	23	0	96	4	△ 4	23	0	96	4	△ 4
そ の 他	59	5	93	2	3	59	3	94	3	0
計	930	8	89	3	5	922	10	86	4	6
卸 売 業										
生 産 財	54	9	89	2	7	53	8	91	1	7
消 費 財	47	15	85	0	15	47	15	85	0	15
計	101	12	87	1	11	100	11	88	1	10
合 計	1,031	8	89	3	5	1,022	10	87	3	7

(2) 特別積合せトラック運賃

■ 7～9月実績（見込み）の『運賃動向指数』は、精密機械が唯一マイナスで、残り14業種がプラスとなった。業種全体の『運賃動向指数』はプラス7で、前期（4～6月）実績からは4ポイント上昇した。

■ 10～12月の『運賃動向指数』見通しでは、その他の製造業がゼロ水準に下降する一方、繊維・衣服、窯業・土石などでプラス幅が拡大する。この結果、業種全体の『運賃動向指数』は2ポイント上昇してプラス9と見込まれ、運賃水準の上昇圧力が強まるものとみられる。

特別積合せトラック運賃の実績と見通し

業種	2013年7月～9月実績					2013年10月～12月見通し					
	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	
		値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り		
製造業	食料品・飲料	61	5	93	2	3	61	7	92	1	6
	繊維・衣服	30	23	77	0	23	30	30	70	0	30
	木材・家具	27	15	85	0	15	27	15	85	0	15
	パルプ・紙	36	14	83	3	11	36	19	75	6	13
	化学・プラスチック	100	8	92	0	8	99	10	90	0	10
	窯業・土石	31	6	91	3	3	31	16	81	3	13
	鉄鋼・非鉄	69	7	87	6	1	69	9	87	4	5
	金属製品	41	7	91	2	5	41	7	91	2	5
	一般機械	77	9	90	1	8	77	9	90	1	8
	電気機械	95	6	93	1	5	94	9	88	3	6
	輸送用機械	74	7	91	2	5	74	12	84	4	8
	精密機械	17	0	94	6	△6	17	0	94	6	△6
その他	38	5	92	3	2	38	5	90	5	0	
計	696	8	90	2	6	694	11	87	2	9	
卸売業	生産財	47	15	81	4	11	46	13	85	2	11
	消費財	32	13	84	3	10	32	9	88	3	6
	計	79	14	82	4	10	78	12	86	2	10
合計	775	9	89	2	7	772	11	87	2	9	

(3) 鉄道コンテナ運賃

- 7～9月実績（見込み）の『運賃動向指数』は、木材・家具など4業種がプラス、繊維・衣服など7業種がゼロ水準で、精密機械など4業種がマイナスとなった。業種全体の『運賃動向指数』はゼロ水準で、前期(4～6月)実績からは横ばいで推移した。
- 10～12月の『運賃動向指数』見通しでは、化学・プラスチックがマイナスに沈み、食料品・飲料もゼロ水準に下降する一方、パルプ・紙がプラスに浮上し、輸送用機械でプラス幅が拡大する。この結果、業種全体の『運賃動向指数』はプラス1と強含み横ばいの推移が見込まれ、運賃水準には緩やかな上昇傾向が窺える。

鉄道コンテナ運賃の実績と見通し

業種	2013年7月～9月実績					2013年10月～12月見通し				
	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数
		値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り	
食料品・飲料	46	2	98	0	2	46	2	96	2	0
繊維・衣服	9	0	100	0	0	9	0	100	0	0
木材・家具	18	6	94	0	6	18	6	94	0	6
パルプ・紙	37	3	94	3	0	36	3	97	0	3
化学・プラスチック	78	1	98	1	0	78	0	99	1	△1
窯業・土石	18	0	100	0	0	18	0	100	0	0
鉄鋼・非鉄	40	0	90	10	△10	40	2	90	8	△6
金属製品	20	0	100	0	0	20	0	100	0	0
一般機械	37	3	97	0	3	37	3	97	0	3
電気機械	43	0	98	2	△2	41	2	93	5	△3
輸送用機械	35	6	91	3	3	35	17	83	0	17
精密機械	9	0	89	11	△11	9	0	89	11	△11
その他	24	0	96	4	△4	24	0	96	4	△4
計	414	2	96	2	0	411	3	95	2	1
卸売業										
生産財	10	0	100	0	0	9	0	100	0	0
消費財	15	0	100	0	0	15	0	100	0	0
計	25	0	100	0	0	24	0	100	0	0
合計	439	2	96	2	0	435	3	95	2	1

(4) 内航コンテナ運賃

■ 7～9 月実績（見込み）の『運賃動向指数』は、精密機械および消費財卸がマイナス、繊維・衣服など4業種がゼロ水準で、パルプ・紙、一般機械など9業種がプラスとなった。業種全体の『運賃動向指数』はプラス4で、前期(4～6 月)実績からは強含み横ばいで推移した。

■ 10～12月の『運賃動向指数』見通しでは、消費財卸がプラスに浮上するほか、窯業・土石、輸送用機械などでプラス幅が拡大する。この結果、業種全体の『運賃動向指数』は4ポイント上昇してプラス8と見込まれ、運賃水準の上昇圧力が強まるものとみられる。

内航コンテナ運賃の実績と見通し

業 種	2013年7月～9月実績					2013年10月～12月見通し				
	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数
		値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り	
食 料 品 ・ 飲 料	29	10	87	3	7	29	14	83	3	11
繊 維 ・ 衣 服	4	0	100	0	0	4	0	100	0	0
木 材 ・ 家 具	10	0	100	0	0	10	0	100	0	0
パ ル プ ・ 紙	16	12	88	0	12	16	12	88	0	12
化学・プラスチック	46	7	93	0	7	45	9	91	0	9
製 窯 業 ・ 土 石	15	7	93	0	7	15	20	80	0	20
造 鉄 鋼 ・ 非 鉄	25	4	96	0	4	25	4	96	0	4
金 属 製 品	14	0	100	0	0	14	0	100	0	0
一 般 機 械	34	9	91	0	9	34	9	91	0	9
電 気 機 械	29	7	90	3	4	28	7	89	4	3
輸 送 用 機 械	25	8	88	4	4	25	16	80	4	12
精 密 機 械	7	0	86	14	△ 14	7	0	86	14	△ 14
そ の 他	17	6	94	0	6	17	6	94	0	6
計	271	7	92	1	6	269	9	90	1	8
卸 生 産 財	6	0	100	0	0	6	0	100	0	0
売 消 費 財	10	0	90	10	△ 10	10	10	90	0	10
計	16	0	94	6	△ 6	16	6	94	0	6
合 計	287	6	92	2	4	285	9	90	1	8

(5) 国内航空運賃

■ 7～9月実績（見込み）の『運賃動向指数』は、パルプ・紙など5業種がプラス、繊維・衣服など8業種がゼロ水準で、精密機械および生産財卸がマイナスとなった。業種全体の『運賃動向指数』はプラス1で、前期（4～6月）実績からは横ばいで推移した。

■ 10～12月の『運賃動向指数』見通しでは、電気機械がマイナスに沈む一方、金属製品および消費財卸がプラスに浮上する以外に大きな動きはみられない。この結果、業種全体の『運賃動向指数』はプラス2と強含み横ばいでの推移が見込まれ、運賃水準には緩やかな上昇傾向が窺える。

国内航空運賃の実績と見通し

業 種	2013年7月～9月実績					2013年10月～12月見通し					
	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	
		値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り		
食 料 品 ・ 飲 料	26	4	96	0	4	26	4	96	0	4	
繊 維 ・ 衣 服	7	0	100	0	0	7	0	100	0	0	
木 材 ・ 家 具	8	0	100	0	0	8	0	100	0	0	
パ ル プ ・ 紙	6	17	83	0	17	6	17	83	0	17	
化学・プラスチック	29	3	97	0	3	29	3	97	0	3	
窯 業 ・ 土 石	14	0	100	0	0	14	0	100	0	0	
鉄 鋼 ・ 非 鉄	28	0	100	0	0	28	0	100	0	0	
金 属 製 品	15	0	100	0	0	15	7	93	0	7	
一 般 機 械	49	6	94	0	6	50	6	94	0	6	
電 気 機 械	64	2	96	2	0	62	2	95	3	△ 1	
輸 送 用 機 械	28	4	96	0	4	28	4	96	0	4	
精 密 機 械	12	0	92	8	△ 8	12	0	92	8	△ 8	
そ の 他	16	0	100	0	0	16	0	100	0	0	
計	302	2	97	1	1	301	3	96	1	2	
卸 売 業	生 産 財	13	0	85	15	△ 15	13	0	92	8	△ 8
	消 費 財	12	0	100	0	0	12	8	92	0	8
	計	25	0	92	8	△ 8	25	4	92	4	0
合 計	327	2	97	1	1	326	3	96	1	2	

(6) 営業倉庫保管料金

■ 7～9 月実績（見込み）の『料金動向指数』は、鉄鋼・非鉄および精密機械がマイナス、木材・家具および電気機械がゼロ水準で、残り 11 業種がプラスとなった。業種全体の『料金動向指数』はプラス 2 で、前期（4～6 月）実績からは 2 ポイント上昇した。

■ 10～12 月の『料金動向指数』見通しでは、木材・家具、パルプ・紙、輸送用機械の 3 業種がマイナスに沈み、金属製品もゼロ水準に下降する一方、電気機械がプラスに浮上し、鉄鋼・非鉄もゼロ水準まで戻す。この結果、業種全体の『料金動向指数』はプラス 2 と横ばいの推移が見込まれ、料金水準には緩やかな上昇傾向が窺える。

営業倉庫保管料金の実績と見通し

業 種	2013年7月～9月実績					2013年10月～12月見通し					
	回答社数	構成比(%)			料金動向指数	回答社数	構成比(%)			料金動向指数	
		値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り		
食料品・飲料	56	5	91	4	1	55	7	88	5	2	
繊維・衣服	15	7	93	0	7	15	7	93	0	7	
木材・家具	19	0	100	0	0	19	0	95	5	△ 5	
パルプ・紙	40	2	98	0	2	40	0	98	2	△ 2	
化学・プラスチック	87	5	95	0	5	87	5	94	1	4	
窯業・土石	22	9	86	5	4	22	9	91	0	9	
鉄鋼・非鉄	59	5	88	7	△ 2	59	5	90	5	0	
金属製品	23	4	96	0	4	23	0	100	0	0	
一般機械	58	2	98	0	2	58	3	95	2	1	
電気機械	68	3	94	3	0	67	6	91	3	3	
輸送用機械	63	5	95	0	5	62	3	91	6	△ 3	
精密機械	13	0	92	8	△ 8	13	0	92	8	△ 8	
その他の	36	6	94	0	6	36	6	94	0	6	
計	559	4	94	2	2	556	4	93	3	1	
卸売業	生産財	36	8	89	3	5	36	6	92	2	4
	消費財	28	7	89	4	3	28	7	89	4	3
	計	64	8	89	3	5	64	6	91	3	3
合計	623	4	94	2	2	620	5	92	3	2	

－ 6. 物流コスト割合の動向－

■ 売上高に対する物流コスト割合の動向について、7～9月実績（見込み）の『動向指数』は、一般機械が唯一マイナスを示し、精密機械がゼロ水準で、残り13業種がプラスとなった。業種全体の『動向指数』はプラス7で、前期（4～6月）実績からは3ポイント上昇した。

■ 10～12月の『動向指数』見通しでは精密機械がマイナスに沈む一方、窯業・土石、消費財卸などでプラス幅が拡大する。この結果、業種全体の『動向指数』はプラス7と横ばいで推移し、物流コスト割合の拡大が続く見通しである。

物流コスト割合の実績と見通し

業 種	2013年7月～9月実績					2013年10月～12月見通し				
	回答社数	構成比(%)			動 向 指 数	回答社数	構成比(%)			動 向 指 数
		上昇	不変	下降			上昇	不変	下降	
食 料 品 ・ 飲 料	92	25	62	13	12	92	27	59	14	13
繊 維 ・ 衣 服	41	17	73	10	7	41	22	61	17	5
木 材 ・ 家 具	41	22	76	2	20	41	27	68	5	22
パ ル プ ・ 紙	55	24	58	18	6	55	24	56	20	4
化学・プラスチック	114	17	74	9	8	114	17	74	9	8
窯 業 ・ 土 石	41	27	54	19	8	41	32	51	17	15
鉄 鋼 ・ 非 鉄	103	18	70	12	6	103	17	73	10	7
金 属 製 品	56	18	70	12	6	55	16	73	11	5
一 般 機 械	99	13	68	19	△ 6	99	16	65	19	△ 3
電 気 機 械	129	18	66	16	2	129	21	61	18	3
輸 送 用 機 械	106	23	62	15	8	105	17	67	16	1
精 密 機 械	28	11	78	11	0	28	11	75	14	△ 3
そ の 他	58	26	67	7	19	58	19	69	12	7
計	963	20	67	13	7	961	20	66	14	6
卸 売 業										
生 産 財	59	24	69	7	17	59	22	71	7	15
消 費 財	50	28	68	4	24	50	30	70	0	30
計	109	26	69	5	21	109	26	71	3	23
合 計	1,072	20	67	13	7	1,070	20	67	13	7